

『球陽プロジェクト』（総合学習）におけるIT活用

県立球陽高等学校
教諭 田里 光夫

1 『球陽プロジェクト』（総合学習）とは

「進路・職業観の育成」をテーマに2年生が自ら企画、実施、報告に取り組むプロジェクトです。2004年11月8日～12日（東京 4泊5日、県内1泊2日）に行われた修学旅行において、それぞれで計画した大学訪問や就業体験にのぞみ、その成果をまとめました。

参加者 県外 生徒280人・引率12人、県内 生徒37人・引率3人

2 目的

本校の教育目標をふまえながら「総合的な学習の時間」を通して、生徒各自が自分の生き方、ありかたを考え、目標を見いだすことによって学びへのモチベーションを高める。体験学習において、視野を広げ、社会で活躍、貢献できる人材の育成を図る。

3 実施方法

2学年317名を県内・県外コースに分け、さらにそれぞれを「教育・福祉、医療・保健、公務・保安、国際、事務・サービス、法務・経営、マスコミ・芸能、研究・技術者」の8コース、計16コースに分けた。それぞれのコース内で4人程度の小グループに分かれ、それぞれのグループごとに小テーマを決定する。事前学習で、小グループごとに訪問したい大学・企業を選定し、生徒自らが訪問交渉を行っていく。また、各企業や大学に対する質問事項等を検討し、事前に送付した。その後、訪問先に応じた個々の行程表を作成し、訪問に備えた。

11月8日～12日に大学・企業訪問を県内・県外で実施。

事後学習として、報告書を作成しコースごとに発表会を行い、全体発表会代表グループを決定。12月22日（水）成果報告全体発表会を実施した。発表会は、体育館において1・2年生及び職員・父母等700人を前に成果報告を行った。その後、報告書及び反省をCD-ROMで提出させた。

3 ITの活用

事前学習

大学・企業等の検索	⇒	情報処理の時間で、サーチエンジンの利用法などを説明 HPの利用、進路資料の利用、各教室へのPC配布
行程表の作成	⇒	GOO路線図などを利用
スキルの育成	⇒	ITセンター研修の利用
訪問学習	⇒	球陽高校HPで研修状況の公開（父母への情報提供）
報告会の準備	⇒	パワーポイントの利用、携帯電話の写真の取り込み
中間発表会	⇒	6会場に分かれ発表、PCを利用
成果報告会	⇒	体育館にて発表会（LANの利用） Helixを使ったストリーミング配信（父母への情報提供）

4 今後の課題・展望

教科間の連携	⇒	教科情報
教師間	⇒	内容指導の充実
PC環境	⇒	いつでも何処でも使える環境作り 利用法の工夫
情報リテラシー	⇒	意識の向上を

